

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

ワルファリンの薬効および副作用発現に及ぼす血漿アルブミン値の影響

### 【研究目的】

低栄養状態の患者さんでは、免疫力の低下や骨量の減少、筋力の低下等の様々な悪影響が現れる可能性がある為、栄養サポートチームの医師、薬剤師、看護師、栄養士などが患者さんの栄養状態の改善を目的に積極的に介入しています。しかし、栄養状態の指標として汎用されている血漿アルブミン値の変動に伴った薬物療法の適正化に関する提案には至っていないのが現状です。

医薬品の中には、アルブミンと結合する割合が高いお薬が存在しており、血漿アルブミン値の変動が医薬品の効果や副作用の発現に影響を及ぼす可能性が考えられますが、その詳細は未だ明らかになっていません。そこで本研究では、低栄養状態の患者さんにおける血漿アルブミン値の変動がお薬（特に、ワルファリン）の効果や副作用の発現に及ぼす影響について調査を行います。

### 【研究意義】

これまで未解明のままであったワルファリンの効果と副作用の発現に及ぼす血漿アルブミン値の影響について明らかにすることにより、患者さんの栄養状態を考慮したワルファリンの安全かつ適正な使用に貢献できると考えています。

### 【調査の対象となる患者さん】

2016年1月～2017年12月までにワルファリンを服用している入院患者さんを対象とし、相互作用を起こす可能性のある併用薬を追加した患者さん、アルブミン製剤を投与した患者さんは除きます。

### 【研究方法】

調査の対象となる患者さんの電子カルテより、以下について調査します。

**【調査項目】**

年齢、性別、身長、体重、体格指数（BMI：body mass index）、アルブミン値、ワルファリン投与量および投与日数、出血傾向の有無、PT-INR 値、ビタミン K 摂取量（食事または輸液など）

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化します。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**【研究実施体制】**

研究機関：愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

研究責任者：助教 飛鷹 範明

研究分担者：

薬剤部主任 高田 裕介

薬剤師 藤本 恵利加

薬剤師 宮下 智尋

松山大学薬学部：

教授 野元 裕

准教授 中西 雅之

助教 日野 真美

准教授 高取 真吾

実習生 関谷 真央

**【研究に関する問い合わせ先】**

本研究からご自身の情報を除いて欲しいという方は、下記の連絡先までお申し出下さい。また、本研究に関する詳細な資料を希望される方や詳細な情報を知りたい方は、下記の連絡先まで連絡をお願いします。他の患者さんの個人情報の保護および知的財産の保護等に支障がない範囲でお答え致します。

研究責任者：飛鷹 範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

電話番号：089-960-5744

e-mail: noridah@m.ehime-u.ac.jp